



5000年以上にわたるファッションの変遷を、写真・図版を駆使して魅力的に紹介する 世界初のヴィジュアル大図鑑！

【特色】

- 美しいオリジナル制作の図版、貴重な歴史的図版や写真などをふんだんに使用した、衣服やその流行にまつわるヴィジュアル・ヒストリーの決定版。
- 包括的で信頼に値するファッションのヴィジュアルブックとして、他に類をみない。世界中より、1500の衣服を取り上げて解説。
- それぞれの時代の傑作といわれる衣服についてスポットライトをあて、構造や素材など、細部を詳細に解説。
- ファッション・アイコン（マリー・アントワネット、ココ・シャネル、ツイッギーなど）がいかにか革新的だったか、またその時代の流行に及ぼした影響などを紹介。
- エジプトのファラオのファッションからイギリスのキャサリン妃まで、それぞれの時代のファッションをすべて網羅。

【監修者プロフィール】

深井晃子（京都服飾文化研究財団理事、チーフ・キュレーター）
お茶の水女子大学、同大学院修士課程修了。パリ第4大学に留学。専攻は服飾文化論、美術史。京都服飾文化研究財団理事、チーフ・キュレーター。ファッション展「モードのジャポニスム」、「Future Beauty：日本ファッションの未来性」展などを国内外で開催。元静岡文化芸術大学大学院教授。著書に「ジャポニスム・インファッション」平凡社1994、「ファッションの世紀」平凡社2006、「ファッションから名画を読む」PHP研究所2009ほか、2008年文化庁長官表彰。

■写真・図版／2500点以上 ■用語解説／約840項目 ■索引／3500項目以上
■定価／18,900円（税込）本体18,000円 ■体裁／B4変形（301×252ミリ） ■上製本／480ページ ■オールカラー
■想定読者／一般のファッション愛好家、高校・大学・公共図書館はもちろん、ファッションデザイナー、アパレル関係者、デザイン系学生、映画・映像関係者、作家・漫画家、キャラクターデザイナー、アニメーター、歴史愛好家等、幅広くおすすめる総合大図鑑。

河出書房新社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2 TEL.03-3404-1201 FAX.03-3404-0338 <http://www.kawade.co.jp>

【お申し込み書】	FASHION世界服飾大図鑑 2013年10月下旬発売 〔ご注文数 冊〕 定 価18,900円(税込) 本体18,000円 ※2013年7月現在(税5%) ISBN 978-4-309-25550-7
お名前	お電話
ご住所	

古代から現代まで、常に時代と共に変化したファッション——その絢爛たる歴史を1冊で網羅した驚異のヴィジュアル・ヒストリー

FASHION

深井晃子〔監修〕
京都服飾文化研究財団理事、チーフ・キュレーター
2013年10月下旬発売
定価18,900円(税込)

山本寛斎氏 推薦！

河出書房新社



衣服は体を保護するという機能性だけではなく、個人や集団のアイデンティティを強化する「イメージの力」がある——歴史を彩る鮮やかな衣服の歴史を貴重な図版を駆使して多角的に紹介

時代毎の格式や形式とともに、
美を追究する技術の変遷もわかる画期的な服飾図鑑。



紀元前3150年前の古代エジプト人の衣服は、壁画やレリーフ、残された装飾品からうかがい知ることができる。ほとんどすべての服はリネン製であった。



18世紀末の、フランスの最新ファッション。細いウエストのボディス、膨らませたスカート部、深く丸いネックラインはレースで飾っていた。



1500～1560年頃の男性ファッション。重ね着することで、男の肉体的存在感を演出した。服の形は複雑になり、刺繍や組紐などを用いて装飾性を高めた。



16～17世紀に流行した超厚底のチョピンから現代のスティレット・ヒール靴まで、400年にわたる登場したさまざまな靴を集めている。



女性用の帽子は高級ファッションの一角を占め、革新的でドラマ性に富んだものである。200年にわたる登場した帽子を集めている。

1964～1969年
ミニ・マジック

ミニスカートがファッション革命の先頭に立ち、ミニドレスがそれに続いた。このワンピースは楽に着ることができ、基本となるAラインのデザインがどんな体形やサイズも引き立てるため、若い女性に幅広く取り入れられた。この服は単純であることで、おしゃれにもカジュアルにも着こなせ、ミニマル・カットやカラー・ブロックから、力強い模様やポップアートのプリントまで、着る人の好みに応じて、普段着にも大胆な外出着にもなった。流行の仕掛人は、金属的なポリ塩化ビニールや光沢のあるレーヨンなど、奔放な素材も試している。ミニドレスがつくり出すまっすぐなシルエットのおかげで、アクセサリも注目を浴びた。ハンドバッグや靴は、服装を際立たせたりアクセントをつけたりする手段として一般的になった。また、タイツの登場により、女性たちは慎みを失うことなく、より短い丈のものを身につけることができるようになった。



オール・イン・ホワイト この印象的な1960年代のミニドレスは、さっぱりとしたカットと、しっかりした仕上げが特徴である。襟と裾は、当時人気があったブロック・ホワイトを崩している。長袖とゆったりとしたウエストラインは、カジュアルな若々しさを演出する。



ブリティ・イン・ピンク ミニドレスに似ているが、ノースリーブで丈がやや長いシフト・ドレス(1950年代のバレンシアガによるサック・ドレスから派生したウエストのないデザイン)は、60年代でも好まれた。このクラシックなシフト・ドレスは鮮やかな色のリネン製で、襟にはプリント地の裏がのっている。



スーパー・ドレス (スープのドレス)



アメリカン・ピンク色の人工ヘビ皮のイートン・バッグ

山本寛斎氏「人類の生き方を知る上で極めて重要な一冊」

私を知る限り、この深い造詣でファッションの記録をまとめたものは、この本が一番と言っても過言ではない。それにしても人間がメイクをし、ヘアスタイルを整え、衣服を身に纏う、その欲求は、ここまで強いエネルギーを生むのか、と驚嘆せざるを得ない。ファッションに関係のある人ならば、そのアイデアに迷った時、この一冊の存在は、強い味方になるものと思われる。この本は、人類の生き方を知る上で極めて重要な一冊である。

深井晃子氏「ファッションへの理解を一層深めてくれる」

本書は、古代から現代までの世界のファッションを通観し、その包括的な内容は他に類を見ない。西欧絵画や有名写真の人物の服装についての様々な疑問、たとえば、どのようなテキスタイルが使われたのか、何の染料で染められた色なのか、服のディテールの構成がどうなっているのかといったものに対して明快に答えてくれる。ファッションへの興味、絵画への興味、そして広く着ることへの理解を、一層深めてくれるに違いないでしょう。(序文より)

マリー＝アントワネットからココ・シャネル、ツイッギーなど
時代を彩るファッション・アイコンを大きく取り上げながら
流行の最先端の歴史を多角的に紹介。



個々のデザイナーのスタイルや変容をわかりやすくまとめたページも多数収録。ココ・シャネルは、「新しき女」たち心地良く着られる服を創出した。



時代に影響を与えたファッション・アイコンを紹介。ロンドンのモデル、ツイッギーは、わずか16歳で60年代を代表する顔となった。



川久保玲、三宅一生、山本寛斎などは斬新な表現や創意工夫に富む構造、ハイテク素材を用いて、ファッション界に衝撃を与えた。



アカデミー賞の授賞式は、ファッション・デザイナーにとって作品を披露し、デザインの方向性を示す大切な場である。



変容する衣服のスタイルを支えて来たのが下着である。理想的なシルエットにするために威力を発揮した下着の300年の歴史。

1790年代に入り、ドレスのシルエットが損なわれることを嫌い、ポケットのかわりにハンドバッグを用いるようになった。